

Vories
cure&care



ヴォーリス
だより

発行 毎月 1日
発行者
ヴォーリス記念病院
三ツ浪 健一
近江八幡市北之庄町492
TEL (0748) 32-5211
印刷
(有) 東呉竹堂 (ひがし印刷)

病院ホームページアドレス
<http://www.vories.or.jp/>

2015年(平成27年)11月1日 第101号

地域包括ケアの充実に向けて

在宅サービス部門長 向 美 保
(訪問看護ステーションヴォーリス所長 兼務)



朝晩の冷え込みが一段と増して風邪など体調を崩しやすい季節となりました。皆様、インフルエンザの予防接種の予約はお済みでしょうか？外出時にはマスクを着用されたり、帰宅後にはうがい・手洗い等に心がけて体調管理をお願いしたいと思います。

さて、国は「2025年問題」として超高齢化・少子化に向けて「地域包括ケアシステム」を打ち出しています。これは、「高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で生活を継続することができるような包括的な支援・サービス提供体制の構築を目指す」というものです。「介護」、「医療」、「予防」という専門的なサービスと、その前提としての「住まい」と「生活支援・福祉サービス」が相互に関係し、連携しながら在宅の生活を支えていくことです。2025年までに、高齢者のひとり暮らしや高齢者のみの世帯がより一層増加し、認知症の方も5人に1人となるであろうとされています。

私が統括させていただいている「在宅サービス部門」は、この「地域包括ケアシステム」の中の重要な役割をさせていただいています。「介護支援専門員(ケアマネージャー)」は、要支援の方も含め介護認定を受けられた方の状態をアセスメントし、ニーズに沿ったプランニングをしたのち各介護サービス事業所に依頼をしていきます。もちろん毎月訪問し、状態に応じたプランの見直し等各介護サービス事業所と連携は欠かせません。「訪問看護師」は、介護保険の方だけでなく年齢や疾患を問わず24時間365日緊急時対応体制で訪問し、状態の把握や必要なケアを提供しながら医師をはじめとする各関係機関と連携し合います。最近では、「看取り」の方や「中心静脈栄養法(IVH)」など医療依存度の高い方の訪問が増えています。また、「理学療法士」が日常生活をおくる上での残存機能の維持や拘縮予防等のためにリハビリテーションにも入っています。「訪問介護士(ヘルパー)」も介護保険の方だけでなく障がいのある方にも訪問しているので年齢を問いません。生活の支援として、買い物や掃除・洗濯、食事介助やオムツ交換等、朝早くから夜遅くまで1日12~13件訪問しています。また、痰の吸引や胃ろうからの注入もできる資格を持ったヘルパーが4名いるので、訪問看護師と連携しながらサービスに行っています。

このような様々な専門職が行政とも連携し、「住み慣れた地域での生活をできる限り継続していただけるよう」勉強会や研修会等にも出席しながら、「私たちヴォーリスグループのできること」を模索し、地域包括ケアの充実を目指しています。「治す医療」から「治し支える医療」への取り組みに、まだまだ人材不足で全て応えきれませんが今後ともご支援の程よろしくお願いたします。

感謝

**敷地内全面禁煙です。
皆様のご理解とご協力をお願いいたします。**

今
月
の
聖
句

わたしはあなたをいやす主である。

旧約聖書 出エジプト記 15章26節

チャブレン 安部 勉



スポーツには勝敗がつきものです。プロ野球では各リーグの優勝チームも決まり日本一決定までの試合に興味は映ります。ヴォーリズだよりを目にする頃には古い話題になっているかもしれませんが。今年はラグビーのワールドカップが開催され南アフリカに日本が勝ったことが話題となり、いままで関心なかった多くの方が話題にしました。相撲は病院では大変人気があり、場所が開催されている時は多くの病室から取り組みの様子がテレビから伝わってきます。

スポーツ観戦の楽しみ、それは勝敗だけを目的に楽しんでいるのではないでしょう。勝敗だけに関心あるなら翌日の結果だけ知れば充分です。でも試合前どのような試合になるのか、どのような展開になるのか誰もが選手へ思いを移入しワクワクドキドキ、ときにハラハラしながら勝敗の決するまで共に味わうのではないのでしょうか。結果、勝利を喜び敗戦にがっかりするのです。でもたとえ負けても「よくやった」と思うような展開であれば「見ていてよかった」という充実感を味わうことでしょう。そしてその充実感こそスポーツ観戦の醍醐味と言えるでしょう。

旧約聖書出エジプト記、ユダヤの民がエジプトでの奴隷生活から「約束の地」へと移動する記録は時にハラハラ・ドキドキの展開です。エジプトの軍隊に追われたユダヤの民は目の前の湖にさしかかり、万事休す。しかし、神さまは湖を分け人々の道を備えたのです。その後、追ってきたエジプトの軍隊は再び閉じられた湖に沈んでいきました。

この出来事をユダヤの民は心から喜びました。しかし、その後ユダヤの民は厳しい砂漠の中を歩まざ

るを得ませんでした。水のない砂漠の中、人々は穏やかではありませんでした。彼らを率いたモーセは三日目にやっと水辺を見つけました。しかし、それは飲めるような水ではありません。ユダヤの民はモーセに向かって「何を飲めばいいのか」と迫ったとあります。人々は神の働きによっていのち救われた喜び、感謝もつかの間、再び「こんなはずではなかった」と指導者へ不満をつのらせたのです。その声を受けモーセは窮状を神に叫びました。すると一本の木が示されたのです。モーセはその木を水に投げ込むと苦い水が口あたりよい水に変えられたのです。

その後、神は指導者モーセに告げました。「わたしに従うならエジプトに下した裁きをあなたたちには下さない」と。神の掟と法を守ることを命じたのです。

スポーツとは違いますが、ユダヤの民の帰還の物語はこのように喜びと感謝、落胆と怒りの中に進みます。どのような不平や不満、そして不条理の中にあっても「神は共にいる」ことこそ最も大事なことであり、守り導く方の支配のうちにあることが幸せであると。

人々は「約束の地に導かれる。」との結果は分かっています。しかし、そこまでに至る様々な出来事の中に神さまを思い、そして不安や恐れに揺れ動く民の姿を見るのです。

その物語に私たちは人生を重ねます。私たちに振りかかる災難や悲しみ、そして喜びや感謝。ユダヤの民が味わったように。聖書はどのような時にあっても「神が共にいる」ことを示します。その言葉の中に救いがあるといつも語りかけているのです。

在宅サービス部門だより

ヘルパーステーション 吉田 恵子

9月26日、近江八幡市社会福祉大会があり、思いもよらず社会福祉協議会会長様より、福祉施設に勤務し地域福祉の向上につとめたということで、在宅部門で6名(訪問看護2名、訪問介護4名)が表彰して頂きました。

思えば入社して十数年の時が流れました。現在12名在籍しているヘルパーステーションも、入社当時6名だったと思いますが、多くの仲間と出会い楽しく過ごさせて頂き、何か人の為になる仕事をしたいという小さい頃からの夢が少しだけですが、叶ったのかなと思います。

多くの利用者さんとの出会いも、私の人生の大切な財産となり、この仕事が出来た事、長く続けられた事

も、感謝・感謝です。

何よりも所長をはじめ諸先輩方、そして職場の仲間達に御指導頂き、わがままな私にお付き合い下さって有難うございます。これからも健康に気をつけて、利用者さんの声に耳を傾け、質の高いあったかいサービスを行い、皆さんに愛されるヘルパーステーションの一員で居たいと思います。



ヘルシークッキング 11月

山芋【長いも煮】



1人あたり エネルギー：173kcal 塩分：1.0g

★材料(4人分)

・山芋	300g
【煮汁】	
・出し汁	200cc
・砂糖	小さじ 1/2
・みりん	大さじ 1弱
・薄口しょうゆ	大さじ 1/2～
・塩	少々



★作り方

- ①長芋を1.5cmくらいの輪切りにして皮をおき、水にさらす。
- ②鍋に【煮汁】と長芋を重ねないように入れて火にかける。
- ③煮立ったら落としづたをして竹串がスツと通るくらいになるまで弱火で煮る。



日本でよく利用される山芋は大別すると自然薯、やまのいも、大薯の3種類に分けられます。特に、やまのいも類の名称は分野ごとに様々で栽培種について植物関係では「ながいも」、園芸関係では「やまいも」、農林水産省関係では「やまのいも」、食品成分表では「じねんじょ」とされています。なぜこのように名称が異なるのか理由は定かではありませんがこれほどまでに分野毎に名称が変わる食品は山芋くらいではないでしょうか？また、名称だけでは無く種類によっても栄養面でも若干含まれる栄養素の量が違うのですが今回は特に滋養強壯として有名な「自然薯」を山芋の代表として紹介しましょう。

山芋は昔から漢方で「山薬（さんやく）」と言われ、疲労回復、虚弱体質の改善、免疫力の向上に良いとされています。これは山芋の豊富なでん

ぶんと糖質によるものですがそれだけではありません。山芋には「アミラーゼ」、「ジアスターゼ」、「ムチン（山芋のネバネバ）」といった消化を助ける酵素や成分が多く含まれています。また、吸収された糖質を身体のエネルギーに変える働きのあるビタミンBも比較的多く含まれています。つまり山芋には「摂取→消化・吸収→エネルギーへ変換」のそれぞれの段階を助ける成分を一つの食品で兼ね備えていると言えます。古くから薬用、滋養強壯として用いられてきたのは豊富な栄養だけでなく、弱った身体にも食べやすい上に消化吸収されやすくエネルギーへの利用率も良い特徴があることを先人達は良く理解されていたのでしょう。

これからの冬本番の前に「山芋」で栄養補給して訪れる寒い季節を元気に乗りきってみてはいかがでしょうか？

健康について

3病棟 福本 裕美子

私にとって、健康とは、心と体のバランスだと考えます。健康とは、悪い所がなく元気な状態の事を言います。悪い所がない、これは体の調子だけではなく、心の調子も含んだ言葉ではないでしょうか。ウォーリスに入社して3年目に入りました。今振り返ると、仕事に慣れるのが精一杯で、仕事と家庭の両立に心と体のバランスを保てず、健康だけがとりえだった自分が初めて病気になるようになりました。不思議なもので、自分の不調さに気付く事もなく毎日が過ぎていく日々気付かせてくれたのは、職場のスタッフでした。一生懸命頑張っている時は、周りが見えなくなってしまう。ここに心と体のバランスが崩れてしまうと一気に健康を失くしてしまうのです。そんな私には今、沢山の仲間や先輩がいます。ほんの少しでも心の中を他人に見せる事で気持ちが楽になります。

同じ悩みや思いを話すことで笑ったり悲しんだり、気持ちを共有することが出来ます。そして、体を動かすこともストレスの発散につながります。昨年からソフトボールに参加させて頂く事になり、他部署のスタッフとスポーツを通じて楽しく汗を流しています。沢山の人と出会える事で自分の成長にもつながります。一歩踏み出す事で、私は心と体のバランスを少しずつ病気から回復することができました。健康とは身体的・社会的・精神的に健康であるという事で、私達が生きていく上で必要不可欠です。

そして今日も患者さんに心のもったケアができるように、心も体も健康に元気に働く自分でありたいです。

報告1

『避難・消防訓練実施』

防火管理者 堀井 由高

去る9月15日に、今年度第1回目の消防訓練を実施しました。

多数の人間が入り勤務する病院・学校・工場等では、『消防法』で年2回以上の訓練が義務付けられており、当院では毎回違った場所からの出火や災害を想定して、通報・消火・避難の訓練を実施しています。

火災に限らず、昨今の気象状況に鑑み、台風・地震・鉄砲水・原発事故等、今やいつ何時どんな災害が身に降り注ぐかわからない状態です。一昨年9月の台風大雨による新館（当時在宅部門事務所と研修室）や墓地周辺の甚大被害は記憶に新しい所ですが、公私を問わず、いざという時の自身の役割分担や避難場所を、常々家族とも共有しておく事が極めて重要です。

当院では消防計画を定めており、各部署の任務内容、自衛消防隊組織表、各建物内の消火器や消火栓の設置位置、避難場所等を細かく規定していますので、是非部署内で確認下さい。

ウォーリスの里全体では、職員数も四百名を超える大所帯となり、災害時の安否確認や出動要請をスムーズに行なえるよう、今般

一斉メール配信システムを導入しました。ご協力方宜しくお願い致します。

火災は、発生させない日頃の予防策が最重要課題ですが、自然災害も含めた「いざ」の際は、まず自身や家族の生命の確保を最優先した上で、落ち着いた行動・役割を果たすことが肝要であると思致します。



『消防訓練』に参加して

管理課 北岸 智美



9月15日(火)、消防訓練に患者役として参加しました。初めにサイレンが鳴り、健診室で火災が発生したという放送が入りました。私は今回は患者役なので、車椅子に乗っての避難になりました。その後、消火器を使って消火活動の模擬訓練をしました。

自由に動けない車椅子に乗って避難した時に感じたことは、特に体が不自由な方にとっては、災害は不安と恐怖でいっぱいになると思いました。そんな時に頼れるのは的確に誘導する職員になると思いました。その後の消火訓練では、消火器の扱い方等を教えて頂きました。天井近くまで火が広がってしまった時は、消火活動を止め、速やかに避難をしなければならないことも知りました。そこで初期消火の大切さを知りました。

全国では度々地震や洪水被害等の災害に見舞われていますが、どこかに自分は大丈夫という気持ちがありました。ですが、災害はいつでもどこで起きるか分かりません。しかも、訓練とは違い突然やって来るのです。そういった緊急事態が起きた時に、パニックにならず、職員として落ち着いて迅速に患者様を誘導、避難させ、安全を確保することがとても大切だと思いました。

今回の訓練を経て、これから自分に何が出来るのか考えさせられたとともに、常日頃防災意識を持って仕事に取り組みなければならぬと感じました。災害は起きて欲しくはありませんが、もしも起こった時に今回の訓練を活かし、頼れる職員になりたいと思います。

栄養科 菊田 裕子

外来からの出火を想定した避難から始まった今回の訓練。私は外来患者役として参加する事となり、火災警報が鳴ると病院スタッフの指示のもとで避難場所へと移動しました。普段の業務においては栄養指導で外来を歩き来する事が多く、もし火災の際にその場に居たらどのような動きをすればいいのかを学ぶ良い経験となりました。また私自身が患者の立場で物事を考えた時、火元からの位置関係やどの程度離れた所に居るかなど把握できず、パニックになると思いました。そんな時、近くに居る病院スタッフがいかに冷静かつ的確に院内に居る人達を安全な場所へ誘導できるかが重要であることを再認識しました。

避難訓練に続いて行なったのが、消火器訓練です。これまでに何度か消火器操作の訓練は受けていたものの、消火器適用の火の大きさ(高さ)やどれくらいの距離から消火を開始したらいいのかまでは十分に理解できておらず、確認する事が出来ました。私は以前に火災現場に遭遇した事があり、その時は初期消火の甲斐あって火が燃え広がらずにすみました。この経験からも初期消火の重要性は認識できています。普段から火を扱う現場のそばで仕事をしている事も多く、改めて警報器や消火器、消火栓の場所を確認し、迅速な対応ができる様備えたいと思いました。

今回の訓練で、患者様やそのご家族、面会者の方々の安全を守るためにも、あらゆる場面を想定した経験を積み重ねていく事が、実際に災害が起こった時の冷静な判断力と的確な行動に繋がっていく事を再認識する事ができました。



報告2

滋賀県病院協会ソフトボール大会

管理課 中西 敦史

9月23日、滋賀県病院協会ソフトボール大会に参加してきました。結果は、1回戦を神崎中央病院と戦い、14-15×のサヨナラ負けでした。大量リードしておきながらのサヨナラ負けとなり、大変悔しい思いと同時に1勝することの難しさを知りました。去年は、初勝利からのベスト8ということもあり、心のどこかに勝って当たり前という気持ちがあり、その気持ちで今回のサヨナラ負けに繋がってしまったのかなと思っています。

11月23日には、10病院が集まる大会に参加します。まずは、1勝出来るよう頑張ってきます。最後になりましたが、選手の皆様本当にお疲れ様でした。今後共、よろしくお祈りいたします。

感謝。



報告3

「ひこっと会議」に参加して

2病棟 林 香織

先日当院で開催された、「ひこっと会議」に参加させて頂きました。

今回の会議は、主に骨折などの整形外科の急性期治療を終了された後リハビリが必要になる方が早期に連携パスにそって主に彦根周辺の回復期を合わせて持つ病院へリハビリ目的で転院されます。各病院でのケース報告や、情報の共有を行ううえでも大切な会議であります。

私は2病棟(回復期リハビリ病棟)へ勤務させて頂き約10ヶ月になります。以前勤務していた病院は、急性期治療を必要とする患者さんが多く、転院後の経過をなかなか知る機会がありませんでした。経過を知ることは、自分自身のやりがいにもつながります。

現在勤務する回復期リハビリ病棟では医師をはじめとして、リハビリ各セラピスト、看護師、介護福祉士、メディカルソーシャルワーカー、栄養士等各専門職が互いに連携をしながら、日々患者さん一人ひとりのケアをしています。連携する為には何よりもコミュニケーションや、情報の伝達が重要であることを改めて感じている毎日です。

回復期リハビリと言いましても、近頃は高齢の方が多く、また既往に認知症を持っておられる患者さんも多く入院されてきます。

環境の変化は認知の進行につながり、リハビリを進めていく上でも大きな妨げになります。また徘徊、転倒などは、日々安全面に配慮をしているが防ぎきれないという業務面において、スタッフの精神的なストレスにもつながっています。

今回各病院の職種間で話し合える時間を頂きました。同じような課題をもたれている施設が多く、今後病棟でも取り入れていけそうなアイデアもあり、良い機会になったと感じます。今後も互いに情報を共有できる場になればと感じています。



報告4

第230回 ミュージックタイム

さる2015年9月26日、「第230回ミュージックタイム」を3病棟で開催いたしました。9月のミュージックタイムは市内で活躍されています「ザ・ミッション」の皆さんをお迎えし、ギター、ハーモニカ、マンドリンのアンサンブルを楽しみました。歌もあり、楽しいお話に心暖まる時を過ごしました。



第22回 初期消火競技会

ダブル受賞

消火栓の部 準優勝！ 消火器の部 入賞！

平成27年10月8日(木)
12時20分より、東近江行政組合近江八幡消防署屋外訓練場にて、初期消火競技会が開催されました。当日は風が強い肌寒い中、メンバーは、前日まで日々練習してきた成果を競いました。

屋内消火栓の部



1チーム3名で実施し、自動火災報知設備の発報により地区窓の確認、119番通報、屋内消火栓による放水時間と取り扱いの的確さを競います。



指揮者・夏目健史 1番員・加藤大貴 2番員・田井中亮平

消火器の部



1チーム2名で実施し、自動火災報知設備の発報により地区窓の確認、119番通報、危険物の排除、消火器による消火時間と取り扱いの的確さを競います。

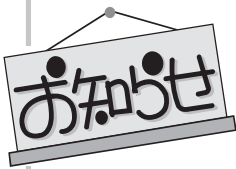
指揮者・林 美里 1番員・中西 敦史



消防監督ハイライト

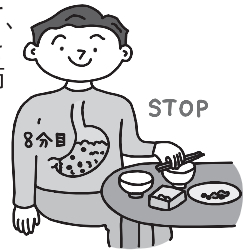
メンバーの皆様、お疲れ様でした。ダブル受賞、本当におめでとございます。最高のチームだったと思います。ご協力して頂きました関係部署の皆様ありがとうございます。この競技会が、皆様の防災防犯意識を高めるきっかけになればと思います。

管理課 中西敦史



▶ 糖尿病及び生活習慣病教室のお知らせ

シリーズで月に一度、木曜日に糖尿病、生活習慣病に関して、実際の食事をご用意し、病気の知識や治療法に関する教室を開きます。詳しくは管理栄養士か外来看護師あるいは担当医師にお尋ねください。



日時 **11月26日(木)** 12:00~13:30 場所 **新館研修室(病院内)**
 講師 **管理栄養士**
 主治医の指示のもとに参加できますが、あらかじめお申し込みが必要です。

近江八幡市介護予防拠点事業

ヴォーリス介護予防教室のご案内 (平成27年度)

回	月 日	内 容 (仮)	講師予定
4	11月26日(木) 14:00~16:00	「折り紙教室 PART X」	ヴォーリス老健センター 施設長 鈴木 輝康氏
5	2月25日(木) 14:00~16:00	「自宅でできる簡単体操」	メディカルフィットネス トレーナー 久保 大志氏

- ①対象者 おおむね65歳以上の方 定員：30名
- ②場 所 アンドリュース記念館 (旧YMCA会館)
近江八幡市為心町中31番地 (近江八幡教会の隣)
- ③参加費 無料
- ④申し込み 4回目11月24日(火)までに往復ハガキで
①住所 ②氏名 ③年齢 ④連絡先電話を
記入の上、右記の係りまでお申し込み下さい。

〒523-0806 近江八幡市北之庄町492
 ヴォーリス記念病院内 介護予防教室係 まで
 お問い合わせは、ヴォーリス記念病院内
 ホームヘルパーステーション
 担当 生駒
 (Tel 32-7130 Fax 36-5458) まで

働く仲間を募集しています!

★看護師・訪問看護師・介護福祉士

“ケアの喜びを一緒に
感じませんか。”

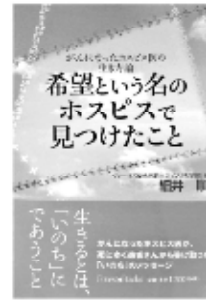


詳細はお問い合わせ下さい。TEL 0748-32-5211 (担当:澤谷)

お知らせ

がんになったホスピス医の生き方論

希望という名の
ホスピスで見つけたこと



ヴォーリス記念病院ホスピス棟建設部長 堀井直先生の著書が出版されました。

窓口販売のみ特典! 『先生の書庫サイン入り!』

窓口販売価格 1,200円(税込)

ご購入を希望の方は、お電話またはお問い合わせ下さい。

メディカルフィットネスセンター

会員募集

あなたの健康づくりをサポート

安心して楽しく運動して頂けるよう、
からだの状態を評価し、お一人お一人
の運動メニューを提供致します。

受付時間 9:30~17:00

利用時間 月・水・木・土/ 9:30~17:00

火・金/ 9:30~20:00

定休日 日曜日・その他 (年末年始など)

近江八幡市北ノ庄町492

ヴォーリス老健センター 1階内

TEL 0748-32-5540

地域連携課

介護・入院・施設の入所等で、

お困りのことがあり
ましたら、お気軽に
お越しください。



本館2階の
エレベーター前です。

“患者サポート支援窓口”の設置

外来診療・入院生活・治療等についてお困りのことがございましたら
患者サポート支援窓口までご連絡下さい。

(担当 岡田・加藤・村松)

平成27年7月23日をもって夜診外来を終了と致しました。
 患者様には御迷惑をお掛け致しますが、
 ご理解ご了承の程宜しくお願い致します。

ヴォーリス召天五十年 記念出版のご案内

第2弾

『神の国の種を蒔こう!』キリスト教メッセージ集



「病人室に生まれたヴォーリスの生涯」から学んでいただき

一冊に成ればと願い、公益財団法人近江兄弟社の協賛により

2014年5月1日初版発行済み。

ご購入を希望の方は、お電話またはお問い合わせ下さい。

価格 2,150円(税込)